

❖ お薬手帳用シールの例

コップ1杯の水で

この薬はコップ1杯の水またはぬるま湯できちんと飲むようにしてください。



のどにつかえるような感じが残るときは、固形物を少し摂るようにするとよいでしょう。また、服用後すぐに前かがみの姿勢などをとらず、胃から薬が逆流しないようにしましょう。

血圧は高くありませんか？

血圧の高い人では、脳内出血の危険性が高まるおそれがあります。



降圧薬を服用し、血圧を良好に保つようにしましょう。食事や運動など、生活習慣の改善も忘れずに。

飲み忘れてしまったら？

飲み忘れに気づいた時点で、すぐに飲むようにしてください。



次の服用まで6時間以上空け、2回分を一緒に飲んだりしないようにしましょう。

胃の調子は悪くありませんか？

胃もたれ、胃の痛み、胃部不快感、心窩部痛などがある場合は、市販の胃腸薬などでの対応は避け、医師・薬剤師に相談してください。



重大な出血につながる可能性もあります。

出血はありませんか？

この薬の服用により、出血しやすくなったり、出血が止まりにくくなったりすることがあります。



血便、血尿、鼻血、歯茎からの出血、アザなどがみられたときは、すぐに医療機関を受診してください。

相互作用に注意

水虫などの治療に用いられるイトラコナゾールとの併用は禁忌です。ほかにも、この薬の作用に影響する薬がいろいろ知られています。



他の診療科や医療機関を受診するときは、医師・薬剤師にお薬手帳を見せ、この薬を飲んでることを伝えてください。

便の色が黒くありませんか？

胃や腸からの出血がみられることがあります。



排便後は、便の色をチェックしましょう。便の色が黒っぽくなるようでしたら、すぐに医療機関を受診してください。

セント・ジョーンズ・ワートとの併用は避けて

セント・ジョーンズ・ワート(セイヨウオトギリソウ)との併用により、この薬の作用が弱まることがあります。



サプリメントを購入するときも、お薬手帳を見せ、この薬を飲んでることを薬剤師などに伝えてください。

痛み止めが必要なときは？

痛み止め(解熱鎮痛薬)と併用すると、この薬の副作用が出やすくなるおそれがあります。



発熱や頭痛、歯痛などで痛み止めが必要なときは、医師・薬剤師に相談してください。自己判断での服用は避けましょう。

EPA・DHAとの併用は避けて

血液を固まりにくくする働きのあるEPA・DHAとの併用により、この薬の作用が強まる場合があります。



サプリメントを購入するときも、お薬手帳を見せ、この薬を飲んでることを薬剤師などに伝えてください。

服用時までヒートシールから出さないようにしましょう

この薬は吸湿しやすい性質があります。



薬を包装から出し、ピルケースなどに入れて持ち歩くことは避けてください。

定期的に腎機能の検査を

腎臓から排泄される薬です。腎機能が悪化すると薬の排泄が少なくなり、作用が強出すことがあります。



定期的に医療機関を受診し、腎機能の検査を受けるようにしましょう。